



水土里情報を活用した農業水利施設情報管理の取組みについて紹介します。

(1/2)

今回紹介する団体:水土里ネット熊本

取組概要

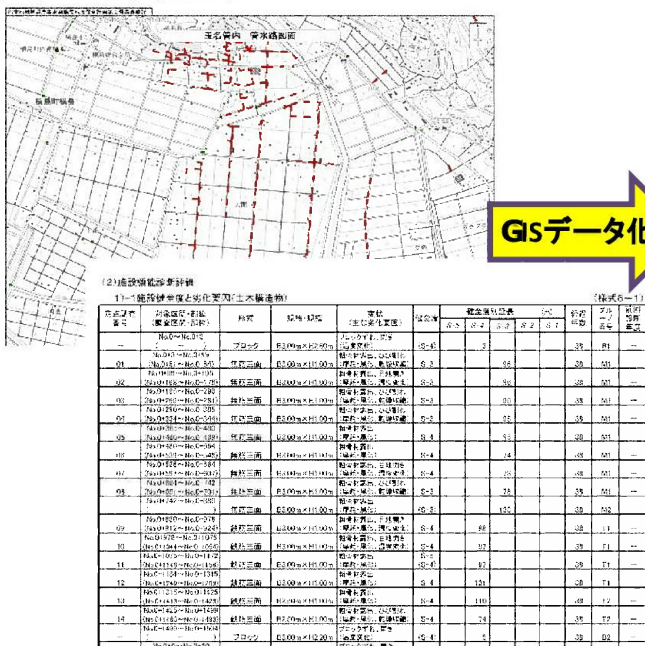
- 内容: ①個別版水土里GISの業務情報管理システムを活用し、県営事業で整備した農業水利施設情報を登録
 ②施設の位置、施設名称、施設概要を登録し、機能診断結果を表示できるようにしたことで、施設の検索や確認が容易となり、管理する土地改良区との間で情報の共有が可能

経緯: 既設の農業水利施設が更新時期を迎えつつあり、更新事業や再整備事業の計画的な実施が必要となっている。

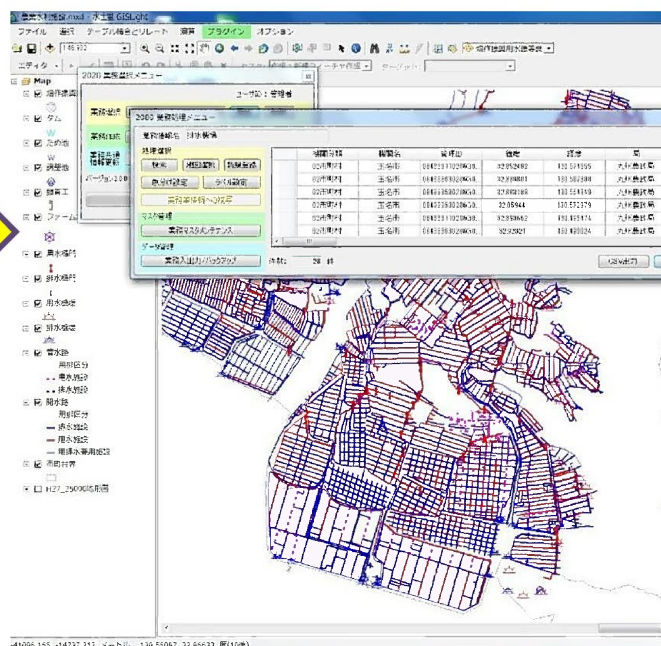
このため、機能診断済みの施設について、診断結果を登録し、市町村や土地改良区と情報を共有し、適切な計画立案に活用する。

データ整備概要図

用排水路系統図等



GISデータ化



機能診断結果等

期待される効果

- ① 機能診断結果の登録により、再整備や更新整備の計画的な立案の効率化
- ② 可視化による情報の共有化
- ③ データベース化によるデータ管理、維持管理の省力化

農業水利施設情報図

No.	項目名	所在地	マシタ率(%)
10	市野村	三宅市	
12	建設番号	2069	
14	建設区画	0024	
15	江区号	内記野村	
16	建設区分	排水施設	
17	施設名	水田排水設備	
18	所在地	三宅市(内記野村)	
19	構造形式	谷田排水(開口)	
20	建設年度	1999	
21	合計面積	154	
22	水田面積	無	
23	田圃	無	
24	農地排水量	7.6	
25	排水設備	無	
26	排水設備	無	
27	伝電機	無	
28	ケーブル	無	
29	変電機	無	
30	配電機	無	
31	設備	無	

データ連携 (※開発中)

タブレット

今後の活用予定

今年度、熊本県水土里情報利活用協議会では業務情報管理システムとタブレット端末との連携ツールを開発中である。これにより、タブレットを利用した現地確認やタブレットに登録した情報を円滑にGISに反映させることが可能となる。これらのツールを利用しつつ、維持管理やデータベース更新の省力化を図り、関係機関との情報共有に活用する。

■お問い合わせ先

熊本県土地改良事業団体連合会 会員支援課水土里情報係 096-348-8802(直通)

農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(愛宕、沖) 03-6744-2201(直通)